

● 地域公共交通研修～公民連携による実践的対応～ ●

実施期間	令和8年10月30日			
対象者	全職員（公共交通担当者のみならず、都市整備・企画・地域振興・福祉等 公共交通にかかわる業務を担当する職員）	定員	32人	
目的・内容	地域公共交通の必要性、および確保・維持・改善にかかる課題を理解し、潜在ニーズを把握する方法や、地域を支える公共交通を再構築するための制度・法令・財源等を学び、公共交通事業者や地域住民等との協働による実効性ある施策を立案・実行する力の習得を図る。			
講師（敬称略）	名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤 博和			
	9:50 10:00	11:50 12:50	17:00 17:05	
10/30 (金)	オリエンテーション	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> 3. 地域ニーズに適合する公共交通のリデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・適材適所の実現 ・サービス品質と運賃・公的補助とのバランス 4. 公民連携による地域公共交通再生への道筋 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の役割、交通事業者の役割 ・住民の理解・協力の醸成 ・協議会の活用 5. ディスカッション 6. まとめ 	ふりかえり（アンケート回答）
	<ul style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・「地域を持続可能とする」公共交通の重要性 2. 地域公共交通の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化によるニーズの変化 ・移動制約者への対応 ・担い手の減少 ・広域連携の必要性（単一自治体での施策の限界） ・新たな技術と地域ニーズとのミスマッチ 			